

大東市下水道総合地震対策 事業概要

事業名	大東市下水道総合地震対策事業
背景・目的	近年、新潟中越沖地震、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等、全国各地で大規模地震が発生しており、下水道施設にも甚大な被害をもたらしております。下水道施設の地震による被災は、トイレの使用不可能、マンホール浮上・道路陥没による交通障害の発生等、住民の生活財産、社会経済活動に重大な支障をきたすものです。 今後、下水道施設の老朽化も進み改築等も必要となっており、下水道施設の耐震化をはじめとする地震対策を確実に実施し、ライフラインとしての信頼性の確保も必要となっており、 このような背景のもと、大東市におきましても平成29年度に下水道総合地震対策事業に着手し、下記の対象施設を選定し、第1期から第3期まで進めてまいりました。第4期についても計画を策定し、令和6年度以降引き続き事業を進めています。
対象施設	【第1期】 災害時の防災拠点及び応急給水拠点への進入路下に埋設されている下水道施設のうち、特に交通の支障となる下水道管渠約 2,500m 【第2期】 広域緊急交通路や鉄道軌道下に埋設されている、または河川を横断している下水道施設のうち、優先度の高い下水道管渠約 4,000m 【第3期】 広域緊急避難路や避難路下に埋設されている下水道施設のうち、優先度の高い下水道管渠約 1,600m 【第4期】 防災拠点や災害医療協力病院等の、19 施設からの排水を受ける下水道管渠約 5,700m
過年度実績	【第1期】 平成29年度 大東市下水道総合地震対策計画策定（第1期）（完了） 平成30年度 詳細診断（完了） 平成31年度 詳細設計・対策工事（完了） 【第2期】 平成31年度 大東市下水道総合地震対策計画策定（第2期）（完了） 令和 2年度 詳細診断（耐震性能有するとの判定により完了）

	【第3期】 令和 3年度 大東市下水道総合地震対策計画策定（第3期）（完了） 令和 4年度 詳細診断（完了） 令和 5年度 詳細設計（完了） 令和 6年度 対策工事
	【第4期】 令和 6年度 大東市下水道総合地震対策計画策定（第4期）（完了）